（別表１）

審査基準表（高度なシカ捕獲研修業務）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査項目 | 配点 | 審査の観点 |
| 項目別配点 | 詳細配点 |
| 研修計画 | ７０ | １０ | 研修の実施方法（準備、研修内容、人員配置、講師、業務経歴、規模（受講者数））、実施体制等を記載した具体的な計画となっているか。 |
| ５ | 研修実施の体制図は具体的記載があるか。 |
| １０ | 実現可能なスケジュールとなっているか。 |
| １０ | 研修の実施に当たり必要な手続き等を把握しているか。 |
| ５ | 他の鳥獣に対する影響の低減を考慮した計画となっているか。 |
| ５ | 豚熱（CSF）等防疫対策の実施に努める内容となっているか。 |
| ５ | 関係機関等（国、県、市町、地元区、土地所有者、地元警察、有害鳥獣捕獲隊等）との連携・調整等の方法は適切か。 |
| １０ | 高度な専門人材育成のための工夫があるか。 |
| １０ | 安全管理の手法は、具体的かつ適切か。 |
| 総合判断（経費以外） | １５ | １５ | 総合的に判断して、研修内容は高度な猟法の習得が可能であるか。 |
| 経費の妥当性 | １５ | １５ | 企画提案の内容に対し、妥当な金額となっているか。 |
| 合　計 | １００ |  |

審査基準表（生息状況調査業務）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査項目 | 配点 | 審査の観点 |
| 項目別配点 | 詳細配点 |
| 生息状況調査計画 | ７０ | １０ | 調査の実施方法、規模（人日）、人数、配置予定者、業務経歴・資格等を記載した具体的な計画となっているか。 |
| ５ | 調査実施の体制図は具体的記載があるか。 |
| １０ | 実現可能なスケジュールとなっているか。 |
| １０ | 調査の実施に当たり必要な手続き等を把握しているか。 |
| ５ | 豚熱（CSF）等防疫対策の実施に努める内容となっているか。 |
| １５ | 精度の高い調査実施のための工夫があるか。 |
| １５ | 調査結果における捕獲事業への効果的な反映方法があるか。 |
| 総合判断（経費以外） | １５ | １５ | 総合的に判断して、精度の高い調査実施の見込みはあるか。 |
| 経費の妥当性 | １５ | １５ | 企画提案の内容に対し、妥当な金額となっているか。 |
| 合　計 | １００ |  |

審査基準表（捕獲業務）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査項目 | 配点 | 審査の観点 |
| 項目別配点 | 詳細配点 |
| 捕獲実施体制 | ８０ | １０ | 捕獲の実施手順（準備、見回り・給餌、止め差し、捕獲個体の埋設等）とその方法、規模（人日）、捕獲従事者数などを記載した具体的な計画となっているか。 |
| ５ | 実現可能なスケジュールとなっているか。 |
| ５ | 捕獲の実施に当たり必要な手続き等を把握しているか。 |
| ５ | 他の鳥獣に対する影響の低減を考慮した計画となっているか。 |
| ５ | 豚熱（CSF）等防疫対策の実施に努める内容となっているか。 |
| ５ | 業務別の役割配置は具体的記載があるか。 |
| ５ | 役割配置の体制図は具体的記載があるか。 |
| ５ | 関係機関等（国、県、市町、地元区、土地所有者、地元警察、有害鳥獣捕獲隊等）との連携・交渉・調整方法等の方法は適切か。 |
| １０ | 捕獲目標達成のための工夫はあるか。 |
| １０ | 適切な捕獲管理体制構築のための工夫があるか。 |
| ５ | 安全管理の手法は、具体的かつ適切か。 |
| ５ | 事故、災害等発生時の対応について具体的記載があるか。 |
| ５ | 事故、災害等発生時の連絡体制の具体的記載があるか。 |
| 総合判断（経費以外） | １５ | １５ | 総合的に判断して、捕獲目標達成の見込みはあるか。 |
| 経費の妥当性 | ５ | ５ | 企画提案の内容に対し、妥当な金額となっているか。 |
| 合　計 | １００ |  |